

2013年6月6日

公益財団法人 日本サッカー協会
2013年度 第3回理事会

協議事項

1. 日本人指導者海外派遣の件

(協議) 資料No. 1

下記各国サッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者を派遣したい。

(1) 派遣指導者：八橋 健一（やつはし けんいち）（44歳）

派遣先協会：キルギスサッカー連盟（FFKR）

資格：米国サッカー連盟（USFSA）A級ライセンス

北中米カリブ海サッカー連盟 インターナショナルライセンス

役職：キルギスサッカー連盟技術委員長

契約期間：2013年7月1日～2014年6月30日

費用負担：[JFA] 給与、傷害保険料、日本-キルギス間の往復航空券

[FFKR] 住居費、自動車、通訳

略歴：添付別紙のとおり

＜背景及び実施理由＞

八橋氏は、昨年6月～12月の約半年間JICAのシニアボランティア派遣制度でユース育成コーチとしてキルギス連盟で活動して頂いた結果、FFKR幹部に高く評価され、再渡航の上技術委員長職への就任を要請された為、今回はJFAとFFKRが直接契約して派遣することに合意した。

なお、八橋氏はJFAライセンスは保有していないものの、米国での指導経験が豊富で、昨年6月の赴任前より、添付経歴書にあるように、JFAの指導者研修会やカンファレンスなどに意欲的にオブザーバー出席をし、JFAの考え方、ノウハウを吸収するのに熱心であった。キルギスは現在FIFAランキング143位であり、中央アジアの他の国々と比較してもサッカーの基盤がまだ脆弱であり、人材も不足しているが、FFKR幹部、サッカー関係者は組織基盤整備からきちんと進めることに意欲的であり、本件におけるJFAの支援を強く望んでいる。

(2) 派遣指導者：小西 鉄平（こにし てっぺい）（35歳）

派遣先協会：ミャンマーサッカー連盟（MFF）

資格：JFA公認A級ライセンス（2009年取得）

JFA公認フットサルC級ライセンス（2009年取得）

AFCフットサルインストラクター資格（2010年取得）

役職：ミャンマー女子フットサル代表監督

契約期間：2013年7月1日～2013年12月31日

費用負担：[JFA] 傷害保険料

[MFF] 給料、住居、自動車、日本-ミャンマー間の往復航空券、通訳

略歴：添付別紙のとおり

＜背景及び実施理由＞

MF Fは今年12月に同国で開催されるSEA Games (東南アジアのオリンピック競技の大会、隔年開催)に向けた強化の一環として、女子フットサル代表監督の6ヶ月間の派遣を要請してきた。

今年のSEA Gamesは、政治・経済の民主化を進めるミャンマーにとり国家として重要な位置付けの大会である。JFAとしては、当該要請に応じ、AFCのフットサルインストラクターとしての経験もあり、ミャンマーにインストラクターとしての渡航実績もある小西氏を派遣したい。

尚、MF Fには既に女子代表監督として熊田喜則氏を派遣している。今回の小西氏の派遣については、財政的には上記のように大部分をMF Fが負担することで合意している。

2. 定時評議員会 開催の件

以下の通り、定時評議員会を開催したい。

- (1) 日時：6月23日(日)13:00 開始
 - (2) 会場：日本サッカー協会 4F 会議室
 - (3) 議題：【協議事項】①評議員2名選任の件
 - ・千葉県FA／大野 辰巳 (おおの たつみ) 専務理事
 - ・三重県FA／高井 幸郎 (たかい ゆきお) 副会長
- ②2012年度 決算(案)の件
- 【報告事項】①2012年度 事業報告の件

3. 天皇杯実施委員変更の件

旧) 北海道選出 千年 規夫 (ちとせ のりお)

↓

新) 北海道選出 富野 重樹 (とみの しげき)

* 前任者の辞任に伴い、北海道協会の推薦による。

4. FIFA ビーチサッカーコーチングコース 開催の件

2013年10月18日(金)～20日(日)にかけて沖縄県宜野湾市トロピカルビーチにて開催する全国ビーチサッカー大会と並行して、FIFA インストラクターを招聘してのビーチサッカー指導者向け講習会を開催したい。

本コースは、実技、講義、全国大会の視察・分析などを通してビーチサッカーに関する高レベルの知識を入手すると共に、国内のビーチサッカー指導者の養成を目指すものである。

これまでは全国大会の場を活用して審判員の研修会を開催していたが、FIFA から今後のビーチサッカーのさらなる発展のために指導者の養成にも取り組むよう指導があったため本コースを開催したい。

受講者は9地域サッカー協会の推薦を得た者のうち、選手歴・指導歴などを考慮したうえで決定する。

■募集概要(案)

目的：FIFA からインストラクターを招聘し、ビーチサッカーに関する高レベルの知識を入手

<p>すると共に、国内のビーチサッカー指導者の養成を目指す。</p> <p>日 程：10月16日(水)～20日(日) *宿泊は15日(火)から</p> <p>会 場：沖縄県宜野湾市トロピカルビーチ（宿泊：ラグナガーデンホテル）</p> <p>参加費：無料（宿泊・食費：当協会負担 / 会場までの往復交通費：受講者負担）</p> <p>内 容：講義、実技、全国ビーチサッカー大会視察・分析</p> <p>募集人数：20名</p> <p>推薦方法・要件：以下要件を満たす指導者を、所定の推薦書とともに各地域協会より推薦する。 （推薦人数は最大3名まで）</p> <p>①現在ビーチサッカー指導者として継続的にチームを指導している。</p> <p>②ビーチサッカーの競技規則や今後の進む方向性を理解している。</p> <p>③ビーチサッカーの今後の活動に活かせる。</p> <p>④全日程に参加できる。</p>
<p>5. 天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催規程変更の件</p> <p>第94回天皇杯 決勝を2014年12月13日（土）、予備日12月23日（祝）とする為、以下の通り、開催規程を変更したい。</p> <p>【変更前】</p> <p>第9条 本大会の開催期日は原則として開催前年度の実施委員会にて決定する。 <u>ただし、決勝戦は1月1日とする。</u></p> <p>【変更後】</p> <p>第9条 本大会の開催期日は原則として開催前年度の実施委員会にて決定する。 （下線部削除）</p>
<p>6. 2014年度 第94回天皇杯全日本サッカー選手権大会 決勝会場の件</p> <p>新国立競技場の建設（2014年7月～2019年3月）に伴い、2014年度 第94回天皇杯決勝会場の変更が必要となるため、以下の要件にて主管公募を行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決勝：30,000人以上収容できること「実施要項 第2条 競技場 ⑧」 ・決勝は2014年12月13日（土）に実施する。 予備日は12月23日（祝）とする。（天皇杯決勝およびF C W Cに同一チームが進出した場合） ・主管協会は、積極的に集客に努める。 ・決勝会場は、準決勝の会場としても主管応募できる。 <p>募集期間は、6月10日（月）～8月30日（金）とし、天皇杯実施委員会で審議の後、理事会にて決定する。</p>
<p>7. 食物アレルギーに関する指針の件</p> <p>（協議）資料No.2①～⑥</p> <p>4月の理事会での協議を受け、食物アレルギーの中で、発症した場合死に至ることもある、最も危険な「アナフィラキシー」について、正しい予防策・対応策を選手及び指導者に啓発する為に、添付の通りガイドラインを作成したい。</p>

8. 第 68 回日本体力医学会東京大会への後援の件

小児から高齢者、有病者からトップアスリートまでの国民の健康の維持・増進、病気の予防、スポーツ外傷と障害、アスリートの競技能力の向上等の課題について、多岐にわたる領域の研究者が取り組み、その研究成果を国民に還元している日本体力医学会大会のランチョンセミナーへの後援及び講師の派遣をしたい。

事業名：第 68 回日本体力医学会東京大会 ランチョンセミナー

日 時：9 月 22 日（日）12：00～13：00（大会自体は、9 月 21 日から 23 日まで 3 日間開催）

場 所：日本教育会館又は学術総合センター（いずれも東京都千代田区一ツ橋）

主 催：第 68 回日本体力医学会大会

ランチョンセミナーテーマ：

「めざせ！世界のトップ 10～日本サッカーとスポーツ医・科学」

講 師：山口隆文 特任理事/技術委員長（育成担当）

2 日目テーマ「発育期を育てる－育成の改革が進む日本サッカー」

（参考）

初日 杉浦克己氏（立教大学教授）

「発育期の食生活サポート」

3 日目 青木治人氏（聖マリアンナ医科大学名誉教授）

「ケガのないサッカーをめざして」

9. サッカーの活動現場における暴力根絶の件

（協議）資料No.3

暴力根絶相談窓口を以下の通り、開設したい。

<窓口の設置（概要）>

①サッカーの活動現場における組織的または個人的な暴力行為の早期発見と是正及び再発防止に努めることを目的とする。

②窓口を技術部内に設置する。

③窓口利用方法は、電話（専用回線）、ファックス及び面会とする。

④窓口利用時間は、平日の 9：30～18：00 とする。

⑤窓口開設日は、本理事会承認後、都道府県サッカー協会に対する周知期間を経て、6 月 24 日（月）とする。

※電話番号を含む窓口開設に関する情報は、別途プレスリリースする。

10. トレセン／地域リーグ支援制度の件

（協議）資料No.4①②

審査の結果、条件に合った地域に対し、1 地域あたり支援金 20 万円を支払うこととしたい。